大　乗　持経寺報

令和８年１１月号
第４７号

住　職　指　導

「霜月」の時節を迎えました。今月は少し寒くなって、天気も好天が続き紅葉も素晴らしいです。

月末の２９日には、今年最後の第３回目の支部総登山会が実施されますので、講中の皆様には、御家族おそろいで御参詣いただけますようにお願いいたします。参加目標の人数は１５０名です。

先月１７日、１８日と執り行われました、御会式御逮夜法要、御正当会には、大勢の皆様の御参詣をいただき誠にありがとうございました。梅屋渉外部長始め、御僧侶方も大変喜んでおられました。

さて、１２月２０日（日）午後1時より、３年をかけて準備して来た「持経寺創立６０周年記念法要」を奉修いたします。今月中に１階の玄関周り、廊下、階段の絨毯、壁紙の張替、２階の絨毯、壁紙の張替をして、作業を終了いたします。その間、講中の皆様には、３回にわたり特別御供養を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。皆様よりの御供養は、お寺のために大事に使わさせていただきます。必ずや皆様には、凡眼凡智では計り知れないほどの功徳善根を積まれたものと確信いたします。

記念法要には、約３０名前後の御僧侶方が出仕される予定です。講員の皆さんには、全員参加で、寺院の歴史に残る立派な法要にして参りたいと願っています。皆さん宜しくお願い致します。以　上

『役　員　挨　拶』　　少年部長　　佐藤　裕子



日足はすっかり短くなり、秋風の冷たさを感じる季節となりました。

１０月１８日には御会式御正當会も厳粛に奉修されました。個人的には恐れ多くも、御逮夜法要にて、日目上人様の御申状を奉読させて頂き、大変貴重な経験もさせて頂きました。

御会式とは日蓮大聖人様が、三世常住、滅不滅を顕された事をお祝いする儀式ですが、私は信心したての頃、亡くなったのにお祝いを何故するのかな？と思った事を思い出しました。未だ知識乏しき自分ですが、少年部の活動を通して、お子さんと一緒に学ぶ事も増えました。少年部会では、新たにお経の練習を始めました。一緒に読む事で勉強になり、新鮮な気持ちになります。

いよいよ今年１２月２０日には、持経寺創立６０周年を迎えます。少年部の活動、折伏と淡々と信行に励み精進させて頂きたいと思っております。

『今年の折伏について』　　婦人部　篠原　晶子



今年は１月から良いスタートが切れました。時々会う友達の工藤さんには、日頃から私が日蓮正宗に入信したての頃の嬉しい出来事の話をしていました。１月２０日にお寺に誘うと、工藤さんは快諾され、唱題会に参加後、中野総代と話をして御授戒の運びとなりました。一方、家族の中で未入信の主人には、何年と信心の話をしてきましたが、中々信心をすると言ってくれませんでした。でも日頃から御本尊様へのお給仕はしてくれていました。その主人に、今年の支部の折伏成就数が足りないことを話すと「足りなかったら入るよ」と言ってくれました。

そして１０月２４日、息子家族も参詣して、主人の御授戒が無事に頂くことが出来ました。

これからは、主人を始め家族みんなで御信心に頑張って行きます。

『支部総登山に参加して』　　登山部副部長　川嶋　めぐみ



９月２７日(日)、第２回支部総登山に参加させていただきました。

長月の９月は、長雨が続いていたため天候が心配でしたが、雨に降られることもなく、大勢のみなさんと今回も参詣することでき、とても良かったです。また、１１月２９日(日)には、本年最後となる第３回目の支部総登山があります。参加目標人数は１５０名です。現在、参加申込の受付を開始しております。一人でも多くの皆さんと共に御登山いたしましょう。参加される方はお早めに申込みいただければと思います。

『支部総登山に参加して』　　婦人部　鈴木　俊恵



９月２７日の支部総登山に主人と参詣させていただきました。支部総登山は天野御住職様とご一緒に本山へ参詣させていただける機会です。私は８月から体調不良も続いていましたので、何とか参詣したく御祈念しながらこの日に体調を整えて向かいました。朝から残念ながら曇が多く富士山は見えない空模様でしたが、暑さも無く穏やかな登山となりました。御開扉で大御本尊様に「家族皆で参詣させていただきたい」と御祈念させていただきました。『大白法』９月号で「相手の幸せを願った唱題で折伏が叶う。」とありました。今年は皆で寺院参詣出来る様に、今一度真剣な唱題で折伏成就に向け頑張ってまいります。

『御会式御逮夜法要に参詣して』　　壮年部　馬田　利則



本年の御会式御逮夜法要で、私は日興上人様の申状を奉読させていただきました。これまで、御会式でご住職様方が奉読されるのを拝聴してきましたが、自分が奉読するとなると緊張で一杯でした。

土、日の朝詣りの後、本堂にて一人残り何度も練習いたしました。最初はとにかく間違えないように、と思っていましたが、読み重ねるうち、日興上人様のお気持ち、ご精神をわが心として拝読することが一番大事なことと思いました。申状には、大聖人様以来の日蓮正宗の精神が伝えられていると感じました。持経寺創立６０周年の記念すべき本年に、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

『御会式に参詣して』　　青年部　鈴木　仁翔



今年も御会式に参加し、会場整理とお花崩しのお手伝いをさせていただきました。会場整理では、来場される方々に気持ちよく参加していただけるよう、明るく気持ちのよい挨拶をすることを意識しました。お花崩しでは、周りの方々と協力しながら作業に取り組みました。御会式に参加する中で、法要が無事に終えるためには、さまざまな役割を担う人たちの協力が大切だと改めて感じました。これからも一つひとつの役割を大切にし、積極的に行事に参加していきたいです。

『御会式に参詣して』　　青年部　山岸　結実



私は幼い頃から毎年御会式へ参加し、お手伝いもさせて頂くようになりました。

今年は初めて接待としてお手伝いさせて頂くことになり、最初は緊張と不安でいっぱいでした。ですが、奥様や一緒に接待をする方達に教わりながら準備や練習を重ねていくうちに、自分の知らない世界を知れる楽しさや、周りと協力して、どうしたらより良い接待ができるかなどを考える嬉しさを感じました。最後は、やりきったあとの達成感で胸がいっぱいになりました。

貴重な経験をさせて頂けたこと、御会式に参加できたことを何よりも嬉しく思いました。